

人称代名詞

1. 人称代名詞とは？

人称代名詞とは、人称ごとに区別された代名詞のことです。英語学習において、次の表を暗記しなければなりません。

		単数			
		主格	所有格	目的格	所有代名詞
1 人称	私	I	my	me	mine
2 人称	あなた	you	your	you	yours
3 人称	彼	he	his	him	his
	彼女	she	her	her	hers
	それ	it	its	it	-
他名詞		Mike	Mike's	Mike	Mike's

		複数			
		主格	所有格	目的格	所有代名詞
1 人称	私達	we	our	us	ours
2 人称	あなた達	you	your	you	yours
3 人称	彼ら	they	their	them	theirs
	彼女ら				
	それら				

これは、教科書・参考書・文法書等、すべての英語関連書に掲載されているだろうものです。覚えないとまったく英語がわかりません。リズムをつけて覚えると楽です。

2. 格について

1. 主格

主格とは、日本語で「～が、～は」を意味するときに使う格です。
主語として使われます。

2. 所有格

所有格とは、日本語で「～の」を意味するときに使う格です。所有（誰のもの）をはっきりさせるときに使います。

3. 目的格

目的格とは、日本語で「～を、～に」を意味するときに使う格です。目的語として使われます。

格の覚え方として、まずは「は・が・の・を・に」この言葉を覚えて下さい。これはそれぞれの格につく日本語の助詞を表しています。

主 格 → ～が、～は

所有格 → ～の

目的格 → ～を、～に

「は・が・の・を・に」さえ覚えていれば、格の判別は楽になります。例えば次の文を見てください。

例文：

「彼女は私に、私の誕生日に自転車をくれた。」

この文に人称代名詞が3つ（彼女は、私に、私の）あります。こういった文を英作する場合、上の「は・が・の・を・に」を覚えていると、次のようにすぐに判別できます。

彼女は → ～は → 主格 → she

私に → ～に → 目的格 → me

私の → ～の → 所有格 → my

このようになり、どの格を使えばいいのかがわかります。

3. 人称について

1 1人称

1人称は「自分」のことです。「俺」や「僕」も1人称です。英語で使う場合は、上の表から判断して、

- 「私は、私が」の場合 → I
- 「私の」の場合 → my
- 「私を、私に」の場合 → me

このように使い分けて下さい。では例文です。

例文：

[主格]

I watch TV.

(私はテレビをみます。)

[所有格]

He has lost my watch.

(彼は私の時計をなくしました。)

[目的格]

She gave me a book.

(彼女は私に本をくれました。)

2 2人称

2人称は「あなた」のことです。「君」や「おまえ」も2人称です。英語で使う場合は、上の表から判断して、

- 「あなたは、あなたが」の場合 → you
- 「あなたの」の場合 → your
- 「あなたを、あなたに」の場合 → you

このように使い分けて下さい。2人称は主格と目的格が同じです。注意して下さい。では例文です。

例文：

[主格]

You sing songs.

(あなたは歌を歌います。)

[所有格]

I want your bag.

(私はあなたのカバンが欲しいです。)

[目的格]

She bought a notebook for you.

(彼女はあなたにノートを買いました。)

3 3人称

3人称は「私」と「あなた」以外のことです。英語で使う場合は、上の表から判断して、

[彼（男性）の場合]

- 「彼は、彼が」の場合 → he
- 「彼の」の場合 → his
- 「彼を、彼に」の場合 → him

例文：

[主格]

He can play tennis very well.

(彼はとてもじょうずにテニスをすることができます。)

[所有格]

I don't know his name.

(私は彼の名前を知りません。)

[目的格]

I said "Hi" to her.

(私は彼女に「やあ」と言いました。)

[彼女（女性）の場合]

- 「彼女は、彼女が」の場合 → **she**
- 「彼女の」の場合 → **her**
- 「彼女を、彼女に」の場合 → **her**

「彼女（女性）」の場合は所有格と目的格が同じです。注意して下さい。

例文：

[主格]

She likes sports.

(彼女はスポーツが好きです。)

[所有格]

I'm using her textbook.

(私は彼女の教科書を使っています。)

[目的格]

I will pick her up at six.

(私は彼女を6時に迎えに行きます。)

[それ（物）の場合]

- 「それは、それが」の場合 → **it**
- 「そのの」の場合 → **its**
- 「それを、それに」の場合 → **it**

「それ（物）」の場合は主格と目的格が同じです。注意して下さい。

例文：

[主格]

It is very interesting.

（それはとても興味深い。）

[所有格]

I like its taste.

（私はその味が好きだ。）

[目的格]

My sister has broken it.

（私の妹がそれを壊しました。）

4. 代名詞以外の名詞の格について

「父」や「妹」などの名詞、そして固有名詞でも格を区別しなければなりません。あまり意識することなく自然に区別できている方が多いですが、慣れていないうちは注意して下さい。

作り方は簡単で、所有格と所有代名詞にだけ 's をつければ OK です。例えば、

[父の場合]

- 父は、父が → father
- 父の → father's
- 父を、父に → father
- 父のもの → father's

[ジョンの場合]

- ジョンは、ジョンが → John
- ジョンの → John's
- ジョンを、ジョンに → John
- ジョンのもの → John's

このように使い分ける必要があります。

[s で終わる複数名詞の所有格について]

-s で終わる複数名詞の所有格は、「'」 をつけるだけで OK です。

例文：

My brother is a student at the boys' school.

(私の弟は男子校の生徒です。)

このようになります。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法